

製品名: ZFY26 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab20094**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	IHC, ICC/IF
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	IHC 1:50-1:300, ICC/IF 1:50-1:200
分子量	279kDa

抗原情報

遺伝子名	ZFYVE26
別名	KIAA0321
遺伝子 ID	23503.0
SwissProt ID	Q68DK2
免疫原	ヒトタンパク質由来の合成ペプチド。アミノ酸範囲: 2381-2430

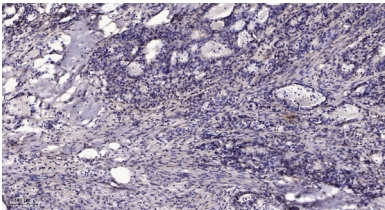
背景

この遺伝子は、FYVE ジンクフィンガー結合ドメインを含むタンパク質をコードしています。このドメインの存在は、膜内のリン脂質との相互作用を介してこれらのタンパク質を膜脂質に標的化すると考えられています。この遺伝子の変異は、常染色体劣性瘰癧性対麻

痺 15 型と関連しています。[RefSeq 提供、2008 年 10 月]、疾患： ZFYVE26 の欠陥は、痙性対麻痺常染色体劣性 15 型 (SPG15) [MIM: 270700]の原因です。痙性対麻痺および網膜変性症またはケルリン症候群としても知られています。痙性対麻痺は、下肢のゆっくりと徐々に進行する筋力低下と痙性を特徴とする神経変性疾患です。症状の進行速度と重症度は非常に多様です。初期症状には、バランスをとるのが難しい、脚の筋力低下と硬直、筋肉のけいれん、歩行時のつま先引きずりなどがあります。この疾患の形態によっては、膀胱症状 (失禁など) が現れたり、筋力低下や硬直が体の他の部位に広がったりすることがあります。SPG15 は複雑な形態であり、認知機能の低下や精神遅滞、軸索性神経障害、軽度の小脳症状、そして頻度は低いものの中枢性難聴、視力低下、網膜変性などの神経症状を伴うことがあります。、配列注意: グルタミン酸と翻訳されています。、類似性: FYVE 型ジンクフィンガーを 1 つ含みます。、組織特異性: 副腎、骨髄、成人脳、胎児脳、肺、胎盤、前立腺、骨格筋、精巣、胸腺、網膜で最も強く発現します。脊髄を含む他の組織では中程度のレベルが検出されます。、

研究分野

画像データ



パラフィン包埋ヒト胃腺癌の免疫組織化学分析。1、抗体を 1:200 に希釈 (4°Cで一晩)。2、抗原賦活化には Tris-EDTA、pH9.0 を使用。3、二次抗体を 1:200 に希釈 (室温、45 分)。